

会社名:	有限会社 ホリケン	承認	承認	承認	承認	承認	承認
第104回(有)ホリケン勉強会兼安全衛生協議会 議事録							
実施年月日	2021年2月6日	議事録作成者		[REDACTED]			
責任者	堀 峰也	出席者		別紙参照			
1、強会兼安全衛生協議会挨拶 (5分)		3、冬の車の事故について (15分)					
		・PDF資料を使用し、冬の車の事故要因と対策を紹介。以下一項目を抜粋。					
2、現場でのコロナウイルス対策について (15分)		①日没が早いことによる事故。					
・PDF資料を使用し、現場にて行うことができるコロナウイルス対策を紹介。以下各項目にて二つ抜粋。		《要因》					
・朝礼、KY活動時の取り組み。		年間を通して1日のうち一番交通事故が多い時間帯は、日が沈む夕暮れ時(薄暮時)です。					
①朝礼時整列間隔の確保。(作業員同士の距離を2m程度確保)		特に秋から冬にかけては日没が早くなり、夕暮れ時の事故が増える傾向にあります。					
②朝礼時の体温測定。(非接触型体温計を推奨)		夕暮れ時を「魔の時間帯」と呼び、警戒を呼びかける企業や団体もあるほど。夕暮れ時は、視認性が低下し運転手が歩行者や自転車を見つけにくい、クルマとの距離を測りにくいといった要因から事故が発生しやすいのです。					
・現場事務所業務、打合せ時の取り組み。		《対策》					
①事務作業時の対人間隔確保や、窓開放などでの喚起。		事故を防ぐ対策の第一は夕暮れ時の早めのライト点灯。歩行者や対向車がない時は上向きライト(ハイビーム)を活用することも忘れないでください。また歩行者、					
②Web(TV)やメール、電話等での対面打ち合わせの削減。		自転車の場合は反射材や光るものを身につけた上、明るい色の服を着用し自分の存在をドライバーに知ってもらえるような工夫をすると安全性が高まります。					
・食事、休憩時における取り組み。		4、足場作業時の遂転落ヒヤリハット事例 (10分)					
①休憩所などでの食事、休憩時の窓等の常時または定期的な開放での喚起。		・3D画像を使用し、足場作業時の遂転落ヒヤリハット事例を紹介。					
②簡易なパーテーション(アクリル板等)による密接防止。							
・現場作業や移動時の取り組み。		5、高所作業車、ポンプ車の災害事例紹介。 (15分)					
①作業員の配置のブロック分けによる密接の回避。		・3D画像を使用したアニメーションを使用し、高所作業車、ポンプ車の災害事例紹介。					
②現場と自宅の直行直帰の推奨。							

協議会写真

実施年月日	2021年2月6日
実施会社名	有限会社 ホリケン
責任者	■■■■■
議事録作成者	■■■■■



作業員間の一定距離の確保



パーティションで密接を防止

防災システムの機能

携帯端末で教育を受講！
参加者全員で現場情報を共有。

Point

1 確実な伝達を実施『資料』
責任者様にアップロードしていただいた協議会資料を確認。
協議会資料は責任者様が自由にアップロードでき、現場毎の注意事項を伝達することができます。

Point

2 確実な教育を実施『動画』
現場オリジナルの動画で協議会を実施。
協議会動画は企業様の安全ルールや情報、責任者様の声などを動画化することで参加者様に分かりやすく解説することができます。
又、動画視聴中にキーワードの数字を表示する事で協議会の内容を確実に伝えることができます。
数字は協議会終了に必要となります。

Point

3 参加者情報の入力
参加者様にキーワード、会社名、年齢、氏名、血圧、既往病等を入力していただきます。
上記入力後、参加者様の顔写真を携帯端末で撮影することで参加者情報を登録します。

Point

4 参加証明証の発行
協議会に参加した証明として『参加証明証』を発行します。
年齢、血圧、既往病入力は異常値になると赤文字で表示します。



資料 + 動画 = 協議会参加者管理